

ぶつきょうつうしん きょう がつごう
仏教通信「今日からやろう！」 9月号

このだいじょしがくいんせいもんよこ けいじばん かか がつ ほうご あす かいい なつ やす お いちぶん
国府台女子学院正門横にある掲示板に掲げられた7・8月の法語「明日からやろうと 40回言うと 夏(休み)が終わります」という一文

こ おとな みみ いた ことば なが おも なつやす またた ま す さ わたし
は、子どもだけでなく大人にとっても耳が痛い言葉なのではないでしょうか。長いと思っていた夏休みが瞬く間に過ぎ去るように、私

じんせい ま お ちか ほうごけいじばん し さ わたし いそ めさき
たちの人生もまた、あっという間に終わりに近づいていきます。法語掲示板が示唆するように、私たちは急がなくてもいい目先のことに

とら め そ ほんとう たいせつ あとまわ じぶん じんせい かえり みみざわ よ かんげん き
執われ、目を逸らしてはならない本当に大切なことを後回しにしていまいがちです。自分の人生を省みると耳触りの良い甘言しか聞か

ひょうか き しんじつ みうしな たいせつ てばな つづ じんせい おく なさけ
ず、評価ばかりを気にして真実を見失い、大切なものを手放し続ける人生を送っているのではないかと、情けなくなってしまうです。

じょうどしんしゅうちゅうこう そ れんにょしょうにん あらわ はつこつ ごぶんしょう あした こうがん ゆうべ はつこつ み
さて、浄土真宗中興の祖といわれる蓮如上人が著された『白骨の御文章』には、「朝には紅顔ありて、夕には白骨となれる身

と いっせつ あさ げんき いえ しゅつぱつ いと いのち し み ま
なり」と説かれています。この一節は、朝、「いってきます！」と元気に家を出発した愛しい命が、ふとしたタイミングで死に見舞われ、

ゆうがた いたい かえ しょうじ はかな わたし つ むじょう しんり わたし いま
夕方には遺体となって帰ってくるという、生死の儚さを私たちに突きつけてきます。しかし、この無常の真理こそが、私たちに「今」

い と わたし かん れんにょしょうにん はつこつ ぶんしょう とお じんせい はかな と どうじ
をどう生きるべきかを問いかけてくるように私は感じます。蓮如上人は、『白骨のご文章』を通して、人生の儚さを説くと同時に、

はかな いのち わたし いま しゅんかん たいせつ しんじつ おし みみ かたむ おし
その儚い命ゆえに、「私」は今この瞬間を大切に、真実の教えに耳を傾けるべきであると教えているのです。

わたし とし ひま ぶつきょう はなし き かんが ひま えいえん こ
私たちは「歳をとって暇になったら仏教の話でも聞こうかな」と考えがちですが、その「暇」は永遠に来ないかもしれません。な

わたし じんせい ゆうげん お むか わ わか ひと みらい まな けいけん つ たいせつ
ぜなら、私たちの人生は有限であり、いつ終わりを迎えるか分からないからです。若い人は、未来のために学び、経験を積むことが大切

たん ちしき ぎじゆつ しゅうとく と じしん ないめん たがや じんせい い み ふか み じかん ちゅうこうねん
です。しかし、それは単なる知識や技術の習得に留まらず、自身の内面を耕し、人生の意味を深く見つめる時間なのです。さらに中高年

ひと しゃかい ちゅうかく にな よ しゃかい きず せきにん めさき りえき じせだい つな じぞくかのう か ち
の人は、社会の中核を担い、より良い社会を築く責任があります。それは、目先の利益だけでなく、次世代へと繋がる持続可能な価値

そうぞう こうれい ひと じしん じんせいけいけん じせだい しそん こころゆた い ち え じあい そそ
を創造することです。そして、高齢の人は、自身の人生経験を次世代に伝え、子孫たちが心豊かに生きられるよう、その知恵と慈愛を注

かんが せかい せいかつ わたし みな たちば
ぐべきだと考えます。この世界で生活している私たちは皆、それぞれの立場で、

やくわり にな い あす きょう
それぞれの役割を担いながら生きています。「明日からやろう」ではなく、「今日

はじ いっぽ うつ むじょう
から」始めること。それが、たとえわずかな一歩であっても、移ろいゆく無常の

よ い わたし もっと たいせつ どりよく
世を生きる 私たちにとって、最も大切な「努力」なのではないでしょうか。

このだいじょしがくいん かよ じどう せいと みな じしん いま み なお えん めぐ
国府台女子学院に通う児童や生徒の皆さんが、自身の「今」を見つめ直す縁に恵

じぶん じんせい たいせつ き とうと じんせい あゆ こころ
まれ、自分の人生にとって大切なものに気づき、尊い人生を歩んでいくことを心

ねん がっしょう
より念じています。合掌

がっき ぶつきょうちょうれい がつこのか つき はじ
2学期の仏教朝礼は9月9日(月)から始まります。

しょうがくぶらいはいいいんかい
小学部礼拝委員会



国府台女子学院 小学部 法語掲示板7・8月より